

《 現場 受入 検査 要領 書 》

(構造用トルシア形高力ボルト・六角ナット・平座金のセット)

1. 適用範囲

本要領書は、鉄骨工事に使用するトルシア形ボルト(以下ボルトという)の現場受入検査(軸力確認検査)に適用する。

2. 使用機器

- 1) 軸力計
- 2) プレセット型トルクレンチ(QLレンチ)又は一次締め専用電動レンチ
- 3) シャーレンチ

3. 試験

試料数は、納入ボルトの中から軸力計に適した長さのものを選定し、径別5セットとする。
試験に使用するボルトのサイズは、軸力計の構造から下記のサイズを納品より抜き取り検査する。

M16×65、70	M20×75、80	M22×80、85	M24×85、90
-----------	-----------	-----------	-----------

4. 試験方法

試験は次に手順による

- 1) ボルト、ナット、座金を軸力計にセットする。
ナットは等級マークが外側になるよう、座金は内径の面取りが外側になるようにセットする。
- 2) 一次締めを行なう。(QLレンチまたは電動レンチ使用)

M16:約100Nm	M20:約150Nm	M22:約150Nm	M24:約200Nm
------------	------------	------------	------------

- 3) ボルト、ナット、座金、プレートにわたってマーキングを行なう。
- 4) 本締めを行なう。
シャーレンチにてボルトの破断溝部が破断されるまで締め付ける。
- 5) マークの確認。
ナットだけ回転していることをマークのずれから確認する。
- 6) 軸力値を読み取る。
ボルト及び座金が回転していないことを確認する。

5. 判定

締付軸力の平均値が表1の範囲内にあるものを合格とする。

表1:ボルト軸力の判定基準(平均値)

(単位:KN)

呼び径	常温(10~30℃)	常温以外(0~60℃)
S10T M16	110~133	106~139
S10T M20	172~207	165~217
S10T M22	212~256	205~268
S10T M24	247~298	238~312

但し、5セットの平均値が表1を満足しない場合は、同じロットから10セットの再試験を行い、その10セットの結果で判定する。

6. 報告書

試験結果は、高力ボルト検査(株)より発行するものとする。